

# はぐくみ会だより

第 2 号

平成 8 年 11 月 1 日

## 所蔵作品紹介 (1)

『雷神額面』

飴谷 有珉



本作品は本校所蔵の作品の中でも有数の美術品である。これは打ち出しの技法が優れていることは当然であるが、それ以上に雷神の表情・雷神以外の空間処理の素晴らしさからくるものである。銅板脂出し彫といつ、銅板に高低をつけることによつて表現する打ち出しではあるが、1mm程度しかない高低によつて、本作品は鑑賞者に雷神の迫り来るような迫力とその背景にある無限の空間を感じさせている。

### 作者紹介

飴谷有珉 あめたに ゆうみん

生没年 明治2年～昭和14年(1869～1939)

明2(1869)射水郡伏木町(現 高岡市伏木)に生れる  
上京し はじめ海野勝珉の門に入り、のちに井田有国に師事。二代民国の娘と結婚、一方齋有珉と銘する。おもに東京で活躍、すぐれた打ち出し技術を有した

## 世界に誇れる青井記念館美術館

学校長 八十田 正 俊

以前に19年間勤めた工芸高校を

離れ県教委に4年、富山工業に2年、再び県教委に4年、10年振りに工芸高校に戻ってまいりました。

工芸に戻って特に変化を感じたものは、前庭の整備、青井記念館の移転新築、新体育館、グラウンドの整備等工芸をとりまく学習環境の充実であります。

なかでも、故青井忠治氏（大正11年本校卒、丸井デパート創始者）から寄贈いただいた青井記念館は、道路拡幅に伴う移転に関し長きにわたり問題になっていましたが、青井氏のご家族や同窓会、県当局のご支援により本校100周年記念事業の一環として移転新築されたことは誠にありがたく感謝いた

しております。

申すまでもなく収蔵品は6000点を超え、創校当時の教材、在職された教職員の作品、生徒の作品、卒業後の作品の寄贈等々さまざま

であります。青井記念館美術館は建物も収蔵品も世界に誇れる美術館であると思っております。この価値ある美術館は本校のためのみならず

美術・工芸・デザイン等の情報発信基地として地域に貢献しなければならぬと考えております。

欧米先進諸国には、地域の芸術文化は地域で支えているという強い意識があります。例えば、高岡市程度の街には、シテイオーケストラがあつて月1回の定期演奏会

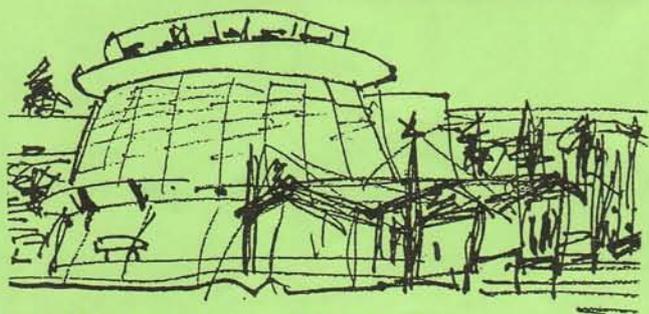
には市民が進んで入場券を買い聴きに行く、シテイオペラや展覧会でも多くの市民がやってくる等、市民が芸術文化活動に参加することが生活のサイクルに組み込まれており、これにより市の芸術文化活動が支えられているのであります。

青井記念館美術館の「はぐくみ会」は、この貴重な文化財産を守り、活力ある企画を支えていこうという心豊かな方々を会員として構成する21世紀を展望した崇高な考えにたつものであり、私もこの考えに感服し着任早々会員の一人とさせていただきます。

また、情報化社会に対応し、本校においてもインターネットによる情報の発信を計画し、ホームページに、青井記念館美術館の収蔵品の全てを紹介するため作品をデジタル映像化する準備をしており、近い将来ルーブル美術館と同様に世界中からアクセス出来るようになります。高等学校でこんな立派

な美術館をもっている学校は一体どんな学校だろうと人々は驚くのではないのでしょうか。今から楽しみにしています。

終わりにりましたが、一人でも多くの方々が会員になっていただきご支援を賜るようお願い申し上げますとともに、あわせて各位のご健勝をご祈念申し上げます。



\*青井記念館のホームページを開設しました。  
<http://www.justnet.or.jp/home/kougei-2/WELCOME.HTM>

## 第二回青井中美展 優良賞を受賞して

### 表現することと私

小杉中学校 田中 桜子

私は小さい頃から絵を描いたり、粘土で物を作ることが大好きでした。中学生になったら美術部か吹奏楽部に入部しようと思っていましたが、結局、吹奏楽部に入部したので、週一回の美術がとても楽しみになりました。私がつくった粘土のくつが優良賞に選ばれたというのを担任の先生から聞かされたとき本当にびっくりしました。その作品は、文化活動発表会に展示するために、三時間の授業と、文化活動発表会の係の仕事の合間に時間をみつけて必死で仕上げたものだったので、そんな作品が受賞するなんて思いもしませんでした。

この作品を作ったときのことを

思いかえしてみると、はきなれた私のくつの形の悪さとか、汚れてきたなくなっているところをありのまま表現できたらいいなと思っ

て作り始めました。自分が表現したいことを人に伝えるときは、おかげさに表現したり、大胆に表現した方がよいということを教わり、くつの前の部分の反りをおおげさにしてみました。また、ひもの部分は、タオルを押しつけ、本物のような質感を出すよう工夫しました。そしてまた、かかとの部分が古くなって形がくずれていたの、作品のくつのかかとも上から押しつぶしてみると、本物らしい雰囲気になっていきました。古くなって汚れて、私の足の動きを受けて変形したくつを、ありのままそっくりに作りたいという一心で最後まで取り組みました。

絵を描いたり物を作るとき、私は自分の感じたり考えたりしたことをどのように表現するかを考えることが好きです。今度の粘土の

くつも、指や道具で強く押した形がそのまますぐ作品に出るのでとても驚きでした。それからどんなイメージが広がっていきました。

もともと四角く整えられた、固く白い粘土が、人の手によっていろいろな形に生まれ変わっていく過程にはとても夢があり、すばらしいことだと思います。これからは、見たものをそのまま表現するだけでなく、それに対する自分の思いも自分らしく表現できるように努力していきたいと思います。

### 第二回

## 青井中美展

### 開催期間

平成7年11月21日(火)

～11月30日(木)

### 参加校

46校

### 応募総数

941点

### 各受賞者

青井大賞 和泉覚士(石動中)  
優秀賞 魚躬美帆(滑川中)  
長澤美幸(福岡中)

### 第三回

## 青井中美展迫る!

### 開催期間

平成8年11月21日(木)

～12月15日(日)

### 作品募集期間

平成8年10月23日(水)

～10月25日(金)

### 表彰

青井大賞・富山県知事賞

1点

特別優秀賞・富山県教育

委員会教育長賞

1点

優秀賞

(富山新聞社賞)

1点

(チューリップテレビ賞)

1点

優良賞

(富山新聞社賞)

3点

(チューリップテレビ賞)

3点

佳作

10点

学校奨励賞

3校

## 平成8年度 展覧会のご案内

1996.4～1997.3

はぐくみ会会員  
募集のお知らせ

はぐくみ会では会員を募集しています。

申し込まれた日から一年間会員となります。

## 主な活動

- 1 青井記念館美術館への協力・支援
- 2 中学生美術展(青井中美展)への支援
- 3 美術館だよりの発行

## 特 典

- 1 企画展等の案内
- 2 美術館だよりの配布
- 3 美術教室への参加

## 年 会 費

- 一般会員(個人) 一〇、〇〇〇円  
 特別会員(企業、団体等) 一〇、〇〇〇円

お問い合わせ・申し込み先

青井記念館美術館はぐくみ会事務局

## ◆掛軸展

4月28日(日)～6月23日(日)

本校所蔵の特別重要、重要美術品である掛軸(山水、人物、動物)の展示

## ◆草花で見る尚美の心展

7月2日(火)～9月23日(月)

緑化フェア協賛企画として所蔵品中で特に花鳥風月をモチーフとした美術工芸と現本校生徒作品の展示

## ◆文化部合同展

7月16日(火)～7月26日(金)

本校文化部の活動状況を作品発表を通して行う。(美術、陶芸、写真、書道、デザイン研究、クラフト部) etc.

## ◆金工展

9月29日(日)～10月6日(日)

国民文化祭出品の応募金工作品を展示

## ◆デザインウエーヴ'96富山展

10月31日(木)～11月10日(日)(外部団体)

プロダクトデザインの全国公募展応募作品の展示

## ◆第3回青井中美展

11月21日(木)～12月15日(日)

富山県内中学生より公募による美術展覧会(絵画、彫塑、工芸、デザイン)作品を審査し入選入賞作品を展示

## ◆現代絵画展

11月21日～4月10日

現代絵画界で活躍中の本校出身の作家たちの所蔵品を展示

## 来館者の声

(館内アンケートより)

- \*音楽とともに楽しめた。
- \*とてもたくさんさんの絵があり心がやすらいだ。
- \*高校付属のものということが驚きだった。
- \*とても伝統のある学校で素晴らしい人が育ち、展示されていて驚いた。

## 編集後記

おかげをもちまして、平成8年度は外部との関連展覧会がいくつもあり、入館者数も13,989名(10月30日現在)を超え、開館以来の総入館者数は38,883名となりました。

当美術館では、皆様のご意見を極力展示に反映させたいと考えています。ご意見、ご希望があればぜひお聞かせ下さい。

今回より本校所蔵作品を表紙で紹介させて頂きます。ご期待下さい。

## 編集発行

富山県立高岡工業高等学校  
 青井記念館美術館はぐくみ会

住 所 933 高岡市中川一丁目二〇  
 TEL (0766)311-6330(内線85)  
 FAX (0766)311-6311